

希望を抱いた皆さんの、興味ある皆さんによる、意欲に燃えた皆さんのための

神戸大学海事科学部マリンエンジニアリング学科

——「部分と全体が分かるエンジニア」を育てます。——

本学科では、機械工学、電気・電子工学、エネルギー工学を組み合わせ合わせた幅広い教育によって、海・船に関わるエネルギー利用技術及び環境保全とメカトロニクス技術に関する基礎知識を修めるとともに、各専門分野間の関連性や重要性をより具体的に理解し、将来においてシステム全体を構成し、管理、評価できる人材の養成を目指して、教育研究を行っています。

オープンキャンパス

午前・午後の部の10分前に4205教室に集合してください。学科長挨拶のあと、若手教員の研究紹介、ポスターによる研究紹介があります。研究設備・実験室見学では、デモンストレーションが行われる実験室もありますので、「①内燃機関工学実験室」、「②極低温実験棟」および「③加速器・粒子線実験施設」の3つのうちから2つを選択登録してもらいます。

○研究紹介（ポスター）

研究を紹介するポスターの前で、教員あるいは在学生在が説明をします。自由に教室の中を見ていただいて、興味があるところで質問などしてください。

○研究設備見学・デモンストレーション

登録後、指定された研究設備へ移動します。

タイムテーブル

午前の部	4205教室に集合	午後の部
9:50	学科長挨拶・登録	13:50
10:00~10:10	研究紹介「海底探査機の最前線」 勝井准教授	14:00~14:10
10:10~10:20	研究紹介「画像から情報を取り出して使う」 山本准教授	14:10~14:20
10:20~10:30	研究紹介「動的破壊メカニズムの解明のために」 藤本准教授	14:20~14:30
10:30~11:00	研究紹介（4205教室） ポスター形式で紹介します。自由に見て質問して下さい。	14:30~15:00
11:00~11:30	研究設備見学・デモンストレーション（1回目）	15:00~15:30
11:30~12:00	研究設備見学・デモンストレーション（2回目）	15:30~16:00

①内燃機関工学実験室



エンジンから排出される成分は環境に悪影響を与えるため、クリーンに運転することが求められています。研究室見学では、エンジンについての解説とディーゼルエンジンをきれいに運転する装置（電子制御式燃料噴射装置）によるデモ実験を行います。

②極低温実験棟



超伝導技術の海事科学分野への応用として、電磁推進船、海流 MHD 発電機・水素発生器、海洋流出油の分離回収などの研究を行っています。研究室見学では、これらの研究内容について説明するとともに、液体窒素を用いた超伝導のデモ実験を行います。

③加速器・粒子線実験施設



放射線とは高エネルギー（高速）の原子や電子、そして光のことです。それはうまく制御して使えば非常に貴重なもので、多くの特異な用途があります。原子をイオンにして任意のエネルギーに加速する装置が加速器です。本学の「タンデム静電加速器」で特異な用途の一端を見て下さい。